

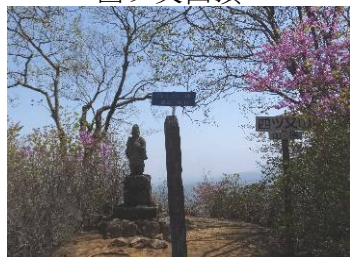
仙人通信 139 四つ又山(899 m) 鹿岳(1015 m)

両山は、下仁田から臼田に抜ける国道 254 号線の南に位置し、山頂に 4 つの小さな峰の四つ又山、又角を 2 本立てた様な岩峰の鹿(かな)岳が並ぶ姿は見たら忘れられない山である。山体の南側を走る県道 45 号、そして南牧川を渡り、山体を右に狭い切通しの細い道を進み高原地区にある駐車場からのスタートである。

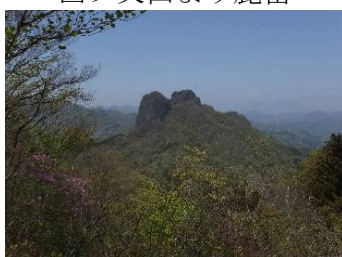
黄色いヤマブキ・クサノオウ・キケマンそして藤の花咲く溪谷沿いの道を 10 分程戻り、登山口の表示のある道へと進む。50 m 程進むと登山カード用の箱があり、そこからは林道である。堰堤を越すとすぐに杉林となり、沢沿いの登山道だ。杉林を抜けると真っ赤な山躑躅とアケビが、そして地面にはカキドウシやタチツボスミレが目立つ。再度杉林に入るも、敷き詰めた杉葉の上、一面に山桜のピンクの花弁が落ち、踏でしまうのが勿体ないようだ。40 分程で杉林から、新芽を吹いた落葉樹となり、歩き始めて 1 時間で下郷や小沢方面と分ける峠だ。道標にはないがガイドブックにある大天狗峠だ。コースは左に進む尾根道である。薄いピンクの山桜の花と水檜の新芽、そして真紅のヤマツツジが綺麗だ。15 分程登り詰めると、目前に鹿岳の岩峰とこれから辿って行くコースが一望できる。紫色のミツバツツジも加わり目を楽しませる。なだらかな 100 m の先にロープが付いた山頂を示す道標である。20 分程で四つ又山の山頂だ。2 体の天狗の石像を取り囲む小さなスペース、そしてピンクのアカヤシオも加わり躑躅三昧である。先に登った赤久縄・稲倉・赤城・榛名も一望だ。ロープを頼りに 3 つのピークを辿るも、3 種の躑躅のトンネルが続き、この上ない。最後のピークと鹿岳のほぼ中央にあるマメガタ峠までは、約 130 m の下降であり、ほとんどがロープ頼りである。山頂から 50 分を掛けての到着だ。南面は杉林であるが、広々とした峠であり、摘みたくくなるようなタラの芽や山椒が沢山ある。コースは杉の急勾配の九十九折れを 10 分、更に鹿岳(1ノ岳)の岩峰壁まで 20 分の細尾根だ。更に岩峰の縁を捲く様にロープを抱えての 30 分で、2ノ岳との間のコルである。20 分を要し 1ノ岳へのピストン、更に長い丸太の階段と車のチェーン程の鎖に支えられて 15 分で 2ノ岳山頂だ。春霞で遠方は確認出来ないも、コンパスと地図を広げ 360° の展望を確認した。嘗て登った荒船・物語・妙義・鼻曲・浅間隠・高ドッキョウ・高田山・妙義・榛名・・・と次々に群馬の山の思い出がよみがえる。最高に幸せの時間を得た。下山は 1ノ岳の根元からロープを使い急勾配のコースを 10 分程進んだ後、又もや急勾配の杉林だ。足元では、白いオカスミレ・ヒカゲスミレ、そして頬を染めたエイザンスミレだ。40 分程で帰路の道路へと出た 5 時間 20 分(17200 歩)の春の散策が出来ました。

(h 28. 4. 26)

四ツ又山頂



四ツ又山より鹿岳



鹿岳(2ノ岳)への階段

